

学校経営推進費 評価報告書（2年め）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府教育センター附属高等学校
取り組む課題	授業改善への支援（生徒の学力の充実）
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部機関の客観的学力診断テストにおける学力の向上 ・ 授業アンケートと学校教育自己診断における生徒の授業満足度の向上 ・ 大学教員や図書館司書などからのコンサルテーションの成果
計画名	<p>「探究図書館を創ろう！！」 ～生徒がカリキュラムのオーナーとなり、 学びをデザインすることを支える学校図書をめざして～」</p>

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>令和4年度、「探究図書館を創ろう！！」が学校経営推進費支援校に決定。評価指標として、図書館の来館者数を400名以上（R3 305、R4 355）利用書籍の統計変化を探るとともに、学校教育自己診断（生徒）で、「図書館を利用して探究活動を進めることができた」（新設）肯定率80%以上。 大阪府教育センターフォーラム等での成果発表を行う。</p>
事業目標	<p>本校が創立以来先進的に取り組んで来た探究活動をさらに発展させ、生徒自らが個別最適な学びや協働的な学びをデザインする学習活動を展開する。主体的な探究活動を支援するような文献や論文に溢れ、また共創的な学習活動を展開できるディベートルームがあり、各授業での活用が可能な知識創造の場となる学校図書を作ることで、生徒の学びを深め、主体的に学びに向かっていると自己を肯定できる生徒の割合を増加させる。</p>
整備した 設備・物品	<p>ワークテーブル12台（いちょう型）、移動式チェア12台、移動式ホワイトボード1台、ベンチ付扇形書架2台、扇形書架4台、直線書架1台、ソファ3個、カーペット18㎡（紺）、カーペット35㎡（緑）、書籍411冊</p>
取組みの 主担・実施者	<p>総務企画部・探究科教員（探究主担3名＋担任18名＋学年主任3名＋大阪府教育センター指導主事）・授業研究委員会</p>
本年度の 取組内容	<p>探究図書館へのリニューアルに伴って図書館利用規定も大きく変更し、協働学習やコミュニケーションを中心とした学習活動を加速させたことで、生徒の学びが深まった。また、探究ナビなど複数の教科と連携し、生徒の学びに合致しそうな内容の書籍を目立つように配置したり、本校独自の分類法で書籍を分類したりすることで、子どもたちが書籍にアクセスしやすい環境を整備した。</p>
成果の検証方法 と評価指標	<p>図書館の来館者数を400名以上（R3 305、R4 355） 利用書籍の統計変化を探るとともに、学校教育自己診断（生徒）で、「図書館を利用して探究活動を進めることができた」肯定率80%以上。</p>
自己評価	<p>R5年度の図書館来館者数合計（延べ人数）は1504人、そのうち貸出数は1032人と大幅に数字を伸ばした。……………（◎）</p>

	<p>一方、学校教育自己診断（生徒）では、「図書館を利用して本を読んだり、友だちと話をしたりすること（探究活動を含む）ができた。」という質問項目に対し、59%の生徒が肯定的な回答を行ったが、中期的目標である80%には至らなかった。……………（△）</p> <p>本年度の事業を終え、来館者数が大きく増加したことから、本年度の取組みは継続させながら、来館から学びにつながる環境設定が必要だと考える。</p>
<p>次年度に向けて</p>	<p>NIE (Newspaper In Education) なども活用し、探究図書館に来れば学びが深まるという観点だけではなく、来館すれば「疑問」や「課題」が見つかり探究心が揺さぶられるような仕掛けを構築する。「疑問」や「課題」が見つければ、自ずと書籍と出会い、学びが深まると期待する。</p> <p>大阪NIE協議会での実践とも連携し、「問が生まれる」「問をはぐくむ」探究図書館をめざす。</p>

3. 事業費報告

<p>今年度事業費総額</p>	<p>27,000 円</p>
------------------------	-----------------------------

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

積算内訳	科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
	1 報償費	1	講師謝礼	¥15,000	1	¥15,000
					小計	15000
3 消耗需用費	1	ブックコートフィルム新書判21cm×50m巻	¥5,500	1	¥5,500	
	2	ブックコートフィルムB6判23cm×50m巻	¥6,500	1	¥6,500	
	3					
					小計	12000
					合計	¥27,000